

Michi na Nōda

立教大学観光学部 西川研究室

目次

1. 概要

2. 昨年度の取り組み

3. 今年度の取り組み

- ① 資材調達
- ② 町内巡回活動
- ③ アンケート調査
- ④ 見守り活動
- ⑤ ネット作成

4. まとめと今後に向けて

1.PJ概要

野田プロジェクト “Michi na Noda” とは

野田市観光振興課の事業として、立教大学観光学部西川研究室が江戸川沿いのサイクリングロード（以下一部をCRと表記）を中心に観光まちづくり・観光振興を行っていくもの



フロントページ

まちづくり

野田街道・江戸川



2019年、本学研究室が「大学生観光まちづくりコンテスト 関東 River CyoRingステージ」において、野田市を対象に作成したプランが優秀賞を受賞したことがきっかけ



“Michi na Noda” とは

- 道な野田 -
- 未知な野田 -
- 未知なのだ -

サイタリングロードを通して

未知 = 「？」なる魅力を

発見 = 「！」し、

もっと野田を好きになってもらいたい。

Michi^なNa^のNoda^だ



2.昨年度の取り組み

昨年度の取り組み 二軸

① 取り組み

1. 地域理解（地域訪問と文献調査）
2. 地域課題と地域資源の把握、可視化
3. サイタリンドロードの結束像の提示
4. 必要なことと提案したいこと、施策
5. 市況の方々を巻き込む方法の考案

② 外部への発信

Instagram・ホームページの作成／運営

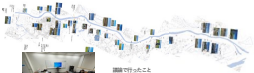


地域理解



- ・CRを自転車で行く
- ・機関、貸与機有無等の調査
- ・中心市街地をガイド付きて数回
- ・CR付近の飲食店などの調査

地域資源の出し合いと可視化



議論で行ったこと

- ＝ 地図へのデータ落とし込み
- ＝ 野田でやりたいことの事
- ＝ サイタリングロードの利便性
- ＝ 文献調査の発表

サイクリングロードの将来像の共有

思いの場の創出

- ・ 住居の力を助ける車止めたり、移動手段として利用したりできる
- ・ 商業地の集約の拠点となる
- ・ 夜でも楽しめる

賑わいの醸成

- ・ 公園のせせらぎに誘えるような良質な場所
- ・ 市の魅力を伝えることができる
- ・ 市の歴史や記憶に繋がる
- ・ 隣県からも訪れたいくなる

自然との共生

- ・ 四季折々の自然を感じられる
- ・ 川や湖沼の風景を楽しみつつ、風を感じながら気持ちよく走ることができる

安心安全の確保

- ・ 子供から高齢者まで安心して利用できる



昨年度のまとめ



観光まちづくりの計画論的ステップ

STEP5

本格的な作戦。地方の経済向上

STEP4

社会実験等による試行と改善
事業化の可能性検証

社会実験等による試行と改善

STEP3

計画案の作成と地域内での共有

社会実験等による試行と改善

STEP2

資源を基とした地域体験・
観光体験の構想

STEP1

地域分析
(資源・政策・事業性等)

- ・ KPI (Key Performance Indicator) の設定
- ・ PDCAサイクルの確立

- ・ プロセスの「見える化」
- ・ 役割分担 (関係者・事業主との
連携づくり)

今年度の取り組み

2022年

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

①資源調査

②町民意向調査

③先進地調査

④資源調査

町民意向調査

⑤アンケート調査・分析

⑥ルート作成

⑦情報収集

2023年

1月

2月

①調査

②町民意向調査

③町民意向調査

④調査

⑤

清水公園の訪問

清水公園内の施設を体験

遊歩道体験



遊歩道体験（遊歩道体験）



遊歩道体験



遊歩道体験



遊歩道体験



チャリロゲの参加

野田市サイクリング協会主催の自転車（チャリ）とロゲイニングを掛け合わせたイベントに参加。
南北のチェックポイントを3度に分かれ巡った。



知久牧場体験



同地区にあり、河川敷での放牧も行っている牧場。

牛のえさや牛の様子を見学し、他事業者の方とどのように関わっているのか、今後の構想などを聞き取り調査した。



また、アイスクリーム工房の見学と試食体験を行った。

同宿エリアの訪問

同宿周辺をサイクリング。様々な観光資源を発見し、体験した。



フェノロジーカレンダーの作成



地域の自然と人の営みを表した生物季節図
環境型では

- ・ 気候…平均気温、風向（走行）
- ・ 生物…草花、野草、草物
- ・ イベント

今後は、

- ・ 情報増…各季節ごとの野山の風景写真
- ・ 新たな資源の掛け合わせ創出

b. 河川敷利用実験

中間報告のスライドより

「いつでもどこにでも開かれるサイクリングロード」の構築に必要なこと

現在はPCを他の目的で使用している車道は少ない（現状認識より）

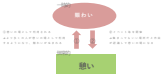
↓

理想のサイクリングロード実現に向けて

【サイクリングロード＝陸い・陸わいの場である】

という認識も共通の方にしてもらう必要がある

【CR-聴い・願わいの場】と市民の方に認識して頂くには ～聴いと願わい、社会実験の位置づけ～



河川敷利用実験の位置付け

目的

- ・川空間におけるアクティビティの実現可能性の検証
- ・川を目的地とした、サイタリングロードの利用者の活性化の検証

具体的内容

- ①野田市の川空間利用の可能性の提示
- ②住民が自らのまちの使い方を考えるきっかけ創出を目的とした川空間の新たな使い方の発信



主体と客体の関係性からみる河川敷利用実験実施のステップ

＜河川敷利用実験における主体と客体の関係性＞

想定する主体・客体は

「せと生/事業主/住民/観光客」の4つ

＜河川敷利用実験のステップ＞

3つのステップにより、段階的に関わる主体の増加を目指す

2022年7月に実施した第1回実験では、Step1を実施

関係性

	せと生	事業主	住民	観光客
せと生	①		③	⑤
事業主	②		④	
住民			⑥	⑦
観光客				



7月実施 河川敷利用実験の概要

<現状分析>

口数が多く、従来のような集客の場としては使われていない

<検証目的>

サイタラングロード・河川敷の新たな利用方法の検討

調査手段・調査方法

調査内容・調査方法

①川沿いでの新たな楽しみ方の提案・試行

-1- 口数・楽しむ「場」の拡大

-2- 楽しみ方の提案

タープ・椅子・机・ハンモックの設置

ボール遊び/虫か/ラジオ体操/水遊び/スイカ割り

②新たな時間帯/時の過ごし方の提案・試行

シアターナイト

③川沿いの集客場としての利用の試行

市内飲食店でのテイクアウトによる食事

7月8日 第1回河川敷利用実験の概要

＜実施日時＞

7月8日

＜実施場所＞

岡部成清記念館周辺の河川敷と公園

＜実施内容＞

サジョ体験

7月8日 第1回河川敷利用実験

河川敷利用実験の様子



河川敷利用実験の様子



7月8日 第1回河川敷利用実験の結果

<感想>

江戸川河川敷や同区域近くの公園はスペースも広く景色も開けていて、気持ちよかった。
真夏であったので直射日光がまぶしかったものの、爽快感を感じた。

<考察>

- ・ ラジオ体操を行える場所(広いスペース)の確保は容易である。

<課題>

- ・ ラジオ体操を行える場所(広いスペース)に屋根がなく、雨天時は口差しが強い。
- ・ 周囲の人々に留意を配慮する必要がある。

7月14日 第2回社会実験の概要

＜実施日時＞

7月14日

＜実施場所＞

同定ふれあい広場

同定ふれあい広場の利用方法

- ・利用時間：20時30分から22時まで
- ・利用申込：パソコンや携帯電話から
野田市公民館予約システム
- ・利用料：無料

＜実施内容＞

テーブル・椅子・机・ハンモック設置/ボール遊び
/ユガ/水鉄砲/スイカ割り/シアターナイト/市内
飲食店でのテイクアウトによる食事

7月14日 第2回河川敷利用実験の結果

河川敷利用実験の様子(1)



河川敷利用実験の様子(2)



河川敷利用実験の様子(3)



河川敷利用実験の様子(4)



河川敷利用実験の様子(5)



河川敷利用実験の様子(6)



河川敷利用実験の様子(7)



河川敷利用実験の様子(8)



7月14日 第2回河川敷利用実証の結果

<感想>

日陰が確保できなかった分、タープの設置が良く感じられた（心地よい休息可能）。事前に想定していた「川」を使ったアクティビティができなかったのが残念だったが、ボール遊びなどは川のそばでできた。周囲を散歩していた方にお声がけ頂くことも多かったため、イベントなどを開催したときの効果がある程度見込めるのではないかと。

<準備物>

道具類

タープ・椅子・机・ハンモックは町民館と好意館、天候が良ければ快達

服装

自転車であれば暑い・暑い時のタイタアウツが可動に、ビタニックとは好意館

<課題>

環境

水道設備がない、仮設トイレのみ、川からは橋へ続く道路が未整備、川までの距離が遠く、車が通っている為近づくことができない（水遊びなどは不可行）

安全対策

強風によりボールが飛ぶ恐れあり

河川敷利用実証

映像が見える程の場所を確保できない、電源を使用する際の騒音、河川敷の通路を塞いでしまう

岡宮城博物館訪問者向けアンケート

<調査員>

2022年12月17日、2023年2月12日

<サンプル数>

53名

<調査方法>

岡宮城博物館前でアンケート用紙配布

概要

- ・ 属性、基本情報
- ・ 江戸時代史について
- ・ 江戸時代史がい、まちなかについて
- ・ 江戸時代史の今後について
- ・ レンタサイクル、シェアサイクルについて

1.属性



5.江戸川CRについてのイメージ



江戸川CRに対して「安全」「景色が美しい」というイメージを持っている人が多い。

8.野田市の江戸川沿いで、自転車で立ち寄った場所



ウォッドデッキ

野田市の江戸川沿いで、「トイレ」「自動販売機」「コンビニ」に立ち寄った人が多い。

9.野田市のまちなかのお店に自転車で立ち寄った経験の有無



まちなかのお店に立ち寄ったことのない人が約7割である。

10. 自転車で訪れたことがある施設や場所



図書館や児童遊園地が大半で、どこにも訪れたことがないという人がそれに続いて多い。

11. 今後また江戸川CRを自転車で訪れたいと思うか

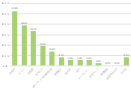


今後また江戸川CRを自転車で訪れたいと「思う」という人が過半数を超えている。

その理由としては、「遊歩やすい」と答えた人が多く、江戸川CRの魅力と一語していた。



12.江戸川ICRに詳しいもの



【江戸川ICR】江戸川ICRの歴史

「江戸川ICR」「トイレ」「自然環境」の活用が多い。江戸川ICRにおいて、自然環境で立ち寄った場所と一致している。また、「江戸川ICR」の活用もある。



13.江戸川サイクリングロードで不満・危険と感じた点（自由回答）

- 所どころ高い場所が多く、夏場で暑が覚えないうちがある
- 道が狭い
- 河口から江戸川河口に降りた道を迂回して欲しい
- 河口から41km地点にカーブミラーを設置して欲しい
- 道が整備されているが、時に車やバイクが走らんと来ると怖い
- 車いすで、水たまり等の整備をしっかりとしてほしい
- 朝や夜などに道の高い壁が写っているところ、歩行者等に気づかせること
- サイクリストとのすれ違い
- 車道と歩道の間に中央帯の道があればいいと思う
- 道が狭いところ、車をちょっと横断道呼んで欲しい
- 道が狭いところがある
- 自転車道が少ない、夏場は危険
- 道が伸びていて危ない（夏場）
- 道が伸びていて危ない、道のりの標識を増やして欲しい
- 車止めを設置して欲しい（自転車道にとって危険）
- 道が汚く、せまい
- 車道と歩道のボーダー
- 夜間、見過しが悪い
- もう少し、自転車道が欲しい、キックアップカー
- 道幅を広く統一して欲しい
- 道幅が狭い
- チーム練習の入り
- 道幅が狭い、横断、道幅が狭れているところがある
- 一部道幅が狭れているところがある
- 飲食、トイレ、休憩場やベンチが少ない
- 歩行者、ランニングの方とのすれ違い

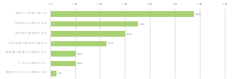


14.江戸川ICRや河川敷でやってみたいこと



「河川敷で散歩」「河川敷ジョギング」「河川敷で読書」「河川敷で音楽（ギター・ピアノ）」の回答が多かった。散歩への関心が高いと共に、河川敷で読書や音楽を楽しむ人も多かった。

15. 岡宮城から自転車に乗ってやってみたいサイクリングの種類



食、景色、歴史の順番が多かった。食への関心が高いことが読み取れる。



サイクリングの目的地



「同宿付近」が過半数を占めている。
一定数、温泉地を目的地としている
人や目的地を定めず、周遊している
人もいる。

岡宿城博物館訪問者向けアンケートのまとめ

結果

- ・江戸川をサイクリング目的で利用する人はリピーターが多い。
- ・野田市内で岡宿城博物館以外にはほとんどの人が訪れていない。
- ・食、景色、歴史に関するサイクリングがサイクリストの関心が高い。
- ・河川敷でやってみたいこととして、食に関することと水上アクティビティの関心が高い。

考察

岡宿城博物館を訪れるサイクリスト向けに岡宿周辺の飲食店や景色が良い場所、歴史的建造物の回り方を発信することで、市街地への誘導が期待できるのではないか。

清水公園利用者向けアンケート

<調査時期>

2023年12月18日、12月19日
2023年2月12日

<サンプル数>

104名

<調査方法>

清水公園内でアンケート用紙配布

概要

- ・ 属性、基本情報
- ・ 清水公園利用について
- ・ 江戸川公園について
- ・ 自転車利用について
- ・ レンタサイクル、シェアサイクルについて

1.属性



2. 今回清水公園に来訪した目的



「散歩」、「自然観察」、「釣り」、「アスレチック」の順が多い

3. 清水公園近くに江戸川ORがあることを知っていますか



「知らない」と答えた人は約55%

知っていても訪れたことがない人が多い

4.江戸川CRについてのイメージ



(その他の回答)

- サイクリスト、フーリングの人が沢山いる
- 自転車が多い
- 古い自転車専用道路
- 2月末～10月末はヒガンバナが綺麗 (田んぼの方)
- 富士山、散歩、サイクリング、菜の花
- 景色が美しい、危険 (散歩する身にとっては)
- 幅員が狭い、徒歩だと危険
- 車が多い時は見通しが悪い
- 何もない場所

「景色が美しい」と回答した人が多い。

5. 清水公園訪問の際に、江戸川CRを使いたいと思うか



江戸川CRを約25%の人は使いたいと思っている

＜理由＞

- ・ レンタサイクルがあったら、観光に利用したい。
- ・ 訪れたことがないから。
- ・ サイクリングロードの寄道としてちょうどいい。
- ・ サイクリングが好きなから

5. 清水公園訪問の際に、江戸川CRを使いたいと思うか



あまり思わない・全く思わないと回答した理由内訳



「距離が長い・目的地が遠い」「江戸川が狭い・歩道が狭い」「江戸川が荒い・水の流れが速い」が理由

清水公園訪問後、江戸川orや河川敷でどんなことをしたいか



「川沿いで散歩」「水遊び」「BBQ」の順で多く、散歩に興味を持っている人が多い

清水公園訪問後、江戸川orでは、何分程度サイクリングを行いたいのか



「30分～1時間」が約33%で最も多い。

「1～2時間」が約25%と二位目に多い。

清水公園から約20キロの関宿城博物館 まで江戸川CRを渡って自転車で行きたいと思うか



「思わない」が最も多いが、一定数興味を持っている人もいます。

清水公園利用者向けアンケートの結果から考察する今後の方向性

結果

- 江戸川を約23%の人が「使いたい」と思っており、「知らない」「知っていても訪問したことがない人」が多い。
- 飲食に興味を持っている人が多い。
- 清水公園訪問時に長時間、長距離サイクリングしたいという人は少なく、30分～1時間程度あれば行いたいという人が多い。

考察

清水公園利用者に江戸川及び河川敷の利用を促進する際は、まず江戸川の魅力を伝え、短時間・短距離でも走れるルート、飲食店にも立ち寄れるルートを提示することが効果的ではないか。

まとめ

結果 江戸HCRを「知らない」と答えた人が約半数で、意外認知をしている人は多い

結果 江戸HCR「興味がない魅力がわからない」「わざわざ使う必要性がない」という人が32.3%と多く、正しい

+CRの存在だけではなく魅力の認知を広める必要がある

まとめ

結果 清水公園へは散歩、花見、BBQ、アスレチックが目的で訪れている人が多い

+このようなアクティビティは江戸川CRでもできるのではないかと
もしてれば、現在清水公園に訪れている人が江戸川CRを訪問してくれる可能性がある

結果 観光客はあまり長い時間CRをしたいとは思わないのではないかと
同感まで行きたいという人は少なく、30分~1時間ほどが丁度良いと考える

+短時間で回れるルートや出口を観光客に提示する必要がある

江戸川区でレンタサイクル・シェアサイクルを利用したいと思いませんか。性別



どちらも「ややほしい」「どちらでもない」がほぼ同数で最も多い。
シェアサイクルの方が、ほしいという人が多い。

江戸川区でレンタサイクル・シェアサイクルを利用したいと思いませんか。性別



c-3 野田市民

野田市民向けアンケート

＜調査時期＞

2023年2月3日～2月8日

＜サンプル数＞

500名

＜調査方法＞

Webアンケート

概要

- ・ 属性、基本情報
- ・ 清水公園利用について
- ・ 江戸川公園について
- ・ 豊後線の自転車利用について
- ・ レンタサイクル、シェアサイクルについて

1. 属性



2. 野田市内のサイクリングロードに関する認識度・利用率



対JPN-ORに比べ、ORの利用率がやや低い。
 利用ORや利用GRよりJPN-ORやOR-GRのほうが認知度・利用率が高い。

3. 江戸川CR及び河川敷の利用頻度



「年に数回程度」「それ以下」が半数を占めている。
一方で、14%程度の方は「月に数回程度」「週に数回程度」の頻度で利用している。

6. 江戸川CRのイメージ



50%以上の人が「景色が美しい」というイメージを持っている。
一方で約20%の人は、「イメージは湧かない」と回答している。



7. 江戸川に対するイメージ



江戸川に対して、約半数の人が「自然のある川」というイメージを持っている。

約2割の人は「子供を遊ばせるには危険な川」というイメージを持っていることから、川の整備や安全性の周知が必要であると考えられる。

2. 不満・危険と感じた点



不満・危険と感じている点は
「トイレが少ない」、「停車場
所がない」「乗降が早い遅い
ている」の順が多い。

9. 江戸川CRでやったことがあること/これからやってみたいこと



江戸川CRでやったことがあることは特になしと回答した人が50%以上であり、現状CRや河川敷を利用した活動は盛んではない。だが、これからやってみたいことはバーベキューや水泳観測を筆頭に全体的に一定数のニーズはある。

また「水上アクティビティ」「スカイスports」は経験している人は少ないが、実施率が高い。

10. 江戸川ORに載しいもの



江戸川ORに載しいものは「トイレ」
「休憩所」「案内板」「自動販売機」の順に多かった。

11. 同窓の訪問回数にみる清水公園－同窓のサイクリングへの興味



同窓を16回以上訪問している人が、清水公園－同窓のサイクリングをしてみたいと回答し、同窓をたくさん訪問しているほど、清水公園－同窓のサイクリングへの興味が高い。



13. 野田市内のCRの利用状況にみる清水公園－関富サイクリング興味

江戸川CR



江戸川CR



利根川CR



利根川CR



いずれのサイクリングロードも訪れたことがある人ほど、清水公園－関富のサイクリングをしたいと思っている。



14. 自宅から江戸川CR・河川敷までの距離と利用率の関係

江戸川CR



江戸川河川敷



江戸川CRまでの距離が近い人ほど、江戸川CR・河川敷を使っている。

15. 江戸川CRでレンタサイクルまたはシェアサイクルを利用したいか

レンタサイクル



シェアサイクル



レンタサイクル・シェアサイクルのいずれも約30%の人が「使いたい」「やや使いたい」と回答。

16. 江戸川ICRでの自転車利用に対する需要と利用したい自転車の種類



約7割の人が江戸川ICRで自転車を利用したいと考えており、かなり需要が高いことがわかる。

自分の自転車を使いたいという回答が7割超を占めるが、レンタルサイクル・シェアサイクルのニーズも必ずしも低いとは言えない。

17. 電動アシスト需要と使いたい自転車の種類の関係



どの種類においても、「思う」「やや思う」と回答した人の割合が高いことから、電動アシストへの需要が高いと言える。



18. 江戸川サイクリングロードを訪れない理由



訪れない理由として**暇がない**や**興味がありません**など需要がないことが分かった。
また、**距離の遠さ**や**自転車の不調時**など、**環境**による影響も大きかった。



野田市民向けアンケートの結果から考察する今後の方向性

結果

- ・ 自宅からの距離と利用するエリアが関係している。
- ・ 自転車に乗る頻度が多い人は、湯水公園～岡宮間のサイクリングに興味を示す割合が高い。
- ・ 水上アクティビティやスカイスポーツを経験したことがある人は少ないものの、実施したいという意欲は高い。

考察

野田市民に向けて岡宮周辺の改良及び河川敷の利用を促進する際は、まず近隣住民や自転車に乗る頻度が高い人に向けてのアプローチや水上アクティビティやスカイスポーツを用いたイベントが効果的ではないか。

先進地訪問

目的

自転車やサイクリングロードの活用を推進している先進地の実態を把握し、今後の江戸川CRおよび野田市での自転車活用への示唆を得る

以下の9つの地域を実際に訪問・体験し、関係者にヒアリングを行った。

茨城県・土浦市

つくば圏外
りんりんロード

千葉県・佐倉市

印旛沼
サイクリングロード

千葉県・我孫子市

手賀沼
サイクリングロード

先進地訪問②（茨城県土浦市・つくば霞ヶ浦りんりんロード） 8/14



- 自転車用のマーキングで歩車分離が明確になっており、駅構内の店舗にもあって、自転車のまもだということが分かりやすかった。
- 貸出自転車＝ロードバイク走りやすい
- 駅直結のサイクリング拠点施設があり、シャワー・ルームもある。

先進地訪問②（茨城県土浦市・つくば霞ヶ浦りんりんロード） 8/14



- ・ マップ内に複数のルートが紹介されており、見どころ情報も細かく記載されていた。
- ・ 危険箇所がマップに明記されていた。
- ・ ロード沿いにトイレや自転車はなく、必ずしも快適ではない。

茨城県土浦市・つくば霞ヶ浦りんりんロード

先進地訪問②（千葉県佐倉市・印旛沼CR） 8/22



- ・観光客向けのルート3種
- ・電子マップのみ
- ・西印旛沼周遊コース
- ・ベンチなど休憩スペースがある
- ・芸術パダルの舞会開催
- ・京東日本のサイタルトレイン
皇居・皇宮でサイタリスト選取



先進地訪問②（千葉県佐倉市・印旛沼CR） 8/22

SABURA CYCLING MAP②



- ・ 城下町周遊コース
- ・ 城下町ならではの景観
- ・ 市街地でも飲食店に足を運べるようなルートなどはない
- ・ 市街地にサイクリスト向けの案内板などの整備がない



先進地訪問⑧（千葉県我孫子市・手賀沼CR） 9/9



- ・ ルートは1種類（街中散歩型）
- ・ 様々なタイプの見物もし台
- ・ 自治体によって整備状況異なる
我孫子側：散歩利用
松戸側：サイクリスト利用



先進地訪問⑧（千葉県我孫子市・手賀沼CR） 9/9



- 周辺施設：道の駅しょうなん
（地域の食料の直売所、サイディング受付営業施設、地元食料レストラン）
- 温泉



先進地評価

	つくし町サイクリングロード	日蓮宗サイクリングロード	中興寺サイクリングロード
道路整備状況	◎	◎	△
トイレ	✕	◎	△
自転車	△	✕	✕
住民・観光客利用状況	散歩の方や釣りの方も	住民多い	中々
利用者	歩行者や自転車も	歩行者も多い	歩行者も多い

先進地評価

	つくし町サイクリングロード	白川郷サイクリングロード	半田郷サイクリングロード
紙マップ	○	×	○
電子マップ	○	○	×
街なかとの連携	○	×	×
ルートの多様性	○	○	×

先進地評価

	つくし園子通りえりんロード	日産園サイクリングロード	車道園サイクリングロード
料金	12分200円 24分300円	普通 500円 電光 1000円	大人 500円 小学生以下 200円
乗り捨て	0円	普通 200円 電光 500円	0円
貸出場所数	11	5	6

野田市のサイクリングロードの活性化に向けて参考になる要素

＜情報提供について＞

- ・ 駅周辺のマップの必要性

＜サイクリングロード周辺の魅力＞

- ・ ペンサや観望スポットの整備
- ・ 季節によって変わる風景や周辺施設の情報を伝える
- ・ 飲食店の情報を伝える

＜ルート・コースのテーマ＞

- ・ 歴史文化や自然など、様々なルート・コースを用意する
- ・ 駅周辺のみではなく、街や近郊の中を巡る仕組みを作る

＜自転車＞

- ・ 駅全体が自転車の街であるような仕掛けの必要性（駅案内への持ち込みや駅に施設）
- ・ ロードバイクの貸し出しやレンタルサイクルの乗り捨てサービス
- ・ 自転車利用者の拠点となるような施設の整備

チャリログアンケートから見るルートに対する需要

観光ルートマップがなかった場合の観光客のルート検索の状況(複数回答可)



観光ルートマップがあった方がよいと思う人が68.6%と多く、場所では歴史的建造物巡りに興味を持つ人が多かった。従って、歴史的建造物巡りのサイクリスト向けの観光ルートマップは需要が大きいと考えられる。

観光ルートマップがなかった場合の観光客のルート検索の状況(複数回答可)



ルート案作成（ターゲット）

野田町および同宿周辺を取り巻く現状

レンタルサイクルが野田町内に存在しない。
サイクリストが観光地へ向かうにはレンタサイクル（レンタルバイク）を借り、通り過ぎてしまう。



ターゲット



同宿城博物館に立ち寄るサイクリスト

ルート案作成（コンセプト）

サイクリストの需要

 全国的に増加の勢いに向きを持つ人が多い
（国土交通省の調査結果より）



調査調査

調査エリアに存在する、あらゆる地域資源を調査し、
 資源をカテゴリーごと（例、同宿舎、同地質大抵、同様の、景色）に分類



コンセプト



同宿舎に関連する施設を巡る



外部への発信

Instagram

河川敷の利用方法や湧水公園、チャリティガでの活動の様子を発信。



河川敷利用方法 2020.07.14撮影



湧水公園 2020.07.14撮影



チャリティガ活動 2020.07.14撮影



昨年度の取り組みと外部への発信

プロジェクトホームページ作成/運営



プロジェクトホームページ



お問い合わせページ

今年度の成果



住民・観光客意識調査

河川敷空間の魅力創出実験



次年度以降に向けて



次年度以降に向けて

①社会実験を通じたサイタリングロード沿いの魅力創出

住民・事業者を含み込んでより良いサイタリングロードのあり方を考える

②サイタリングロードを適用したルートづくり

同窓同窓ルートのブラッシュアップや、他のルートの検討

③魅力発信ツールの作成

自転車による野田の楽しみ方を発信する

